

緑 中 通 信

～自分が楽しく、みんなも楽しく～

発行責任者：郡山市立緑ヶ丘中学校長 柳沼久裕

1学期も残すところ1週間 子どもたちの「緑中魂」に感動！

緑ヶ丘中学校に赴任して、あっという間に1学期終了。登校時のさわやかなあいさつ、意欲的な授業への取り組み、短時間集中で床も心も磨く清掃活動、主体的な生徒会活動、中体連での活躍、MFSで見た学年を超えての一体感などなど。枚挙のいとまがないくらい日々感動をもらいました。それでも、子どもたち一人一人には、教科によって学力に差があったり、教科の中でもある分野が苦手だったり、それぞれに課題があるだろうと思います。夏休みには、ぜひそれらを整理して、望ましい生活リズムを維持しながら、少しでも改善できるよう期待しています。

6月、齋藤鈴子先生の人権授業より



毎年恒例となっておりますが、6月、ほぼ1か月をかけて、すべての学級に、人権擁護委員の齋藤鈴子先生から、人権についての授業をしていただきました。**1年生は、「リスペクトアザース（他者の尊重、他者への思いやり）」**、**2年生は、「性的マイノリティと人権 あなたがあなたらしく生きるために」**、**3年生は、「インターネットと人権 加害者にも被害者にもならないために」**という、発達段階に応じた内容で

授業を行っていただきました。齋藤先生の、エネルギーあふれる温かい語りかけや丁寧な説明に、子どもたちも真剣に考え、発言し、ワークシートをまとめていました。私も、すべてのワークシートに目を通し、子どもたちの意識の深まりにとっても感心しました。

授業を拝見して、どんな題材での人権学習でも、つきつめていくと次に挙げる2点に突き当たるような気がしました。1点目は、**「自分を大事にすること、自分を丸ごと好きになること」**。2点目は、**「『みんな違ってみんないい』を自らの言動で表し、他者と関わること」**。特に2点目は、子どもたちはもちろん、大人も（大人だと余計に？）難しいことのように思います。学力を身に付けさせるのが学校の第一の役目だとは思いますが、その学力を、社会のために役立てるためには、心を育てなくてはならないという思いを強く持ちました。齋藤鈴子先生ありがとうございました。

ある研修会で次の10か条を紹介いただきました。参考まで。（細かい字ですみません。）

【ネット依存を防ぐために家庭でできること】

- 早い段階からの情報端末（スマホ、タブレット等）の本人所有を避ける。
- 情報端末は居間などの共有スペースで使用する。
- 18歳未満は確実にフィルタリングをする。（法律で決まっていること）
- インターネット利用のルールを作り、守らせる。（ペナルティは子どもに決めさせる。）
- 部活動・塾・趣味特技・ボランティアなど、社会的活動を多く経験させる。
- インターネットやゲームの使用時間について、日記をつけるなど、現状を可視化する。
- 本人自身が制御できるように、計画を立てて実行できるよう援助する。
- 金銭面に関して、家族が確実に制御する。
- 生活のリズムを崩さないように援助する。（就寝時間、起床時間は死守！）
- 何よりも家族（大人）が、子どもに誇れる使い方を実践する。

すべては、子どもを病と危険から守るため

過日配付いたしました郡山市教育委員会策定の「郡山市立学校部活動等のあり方に関する指針」をうけて、**「緑ヶ丘中学校部活動運営方針」**を策定いたしましたので、別添にて配付させていただきます。運用は8月から開始いたします。

なお、年度途中からの運用になりますので、今年度中は、とりあえずの試行期間と考えています。また、運動部と文化部（特に管弦楽部）については、活動内容、目標設定等が違いますので、若干原則外の運用になる場合もありますが、ご理解願います。

確実な休養日の設定と、短時間集中の活動時間設定により、子どもたちの学校生活全体が、より充実するよう指導してまいりますので、重ねてご理解とご協力をお願いいたします。